令和5年度 総合型選抜 福祉情報学部 小論文
出題の意図と解答の傾向

第1問

【出題の意図】

ウェルビーイングは、現代社会を語る上で重要な言葉になっている。ウェルビーイングは、特に福祉を説明する1つの側面があり、ウェルフェアやウェルネスという言葉の意味を使う分野と概念の違いを共有することでより理解を深めることができる。

まず、ウェルビーイングについて筆者の見解を纏める。ウェルビーイングの見解は、時代と共に変化している。それは、人口増加と定常化のサイクル、経済成長から心の成長へという文書中の見出しでも示されている通り、社会の状況や社会の価値観の変化によることである。

このような見解を踏まえて、自分にとってのウェルビーイングとは何かを考える。まずは、社会の変化に伴う現代社会の課題を自分の置かれている立場や経験に結びつけて考えることが必要である。また、金銭的欲求や物質的欲求が自分にとってどの様な欲求と重なり合っているのかを考える。更に、心の成長という時代における価値の変化が自分の生活においてどの様なことと関連づけられるかを考える。

設問全体を通して、正確に筆者のウェルビーイングの見解を捉えた上で、自分にとってのウェルビーイングとは何かを考えなければならない。筆者の意見と自分の経験を関連づけてウェルビーイングを考えることができるのかを問うている。

【解答の傾向】

多くの解答は、本文中の言葉をつぎはぎで貼り合わせている。筆者の見解のポイントを整理した上での解答ができていない。文中に示された大きな見出しである、ウェルビーイングの定義、人口増加と定常化のサイクル、経済成長から心の成長への3つについて、それぞれの筆者の見解について触れ、本文の中略以降に書かれている内容を、次に述べる自分にとってのウェルビーイングと関連づけできるように見解を整理することが求められる。

筆者の見解と自分の見解が結びつけられていない解答が多く見られる。筆者のウェルビーイングの定義を正確に捉えることがなく、学校生活での活動をウェルビーイングという独自の概念のもとで解答されていることも少なくない。

第2問

【出題の意図】

第2問は、文部科学省・国立教育政策研究所「OECD 生徒の学習到達度調査 2018年調査 (PISA2018)のポイント」、OECD, TALIS 2018 Results、OECD Education at a Glance から出題した。

2025年度大学入学共通テストから、新教科「情報」が実施されることとなった。ICTに関

する政策が進められる中で、生徒がプログラミングや情報を学ぶ重要性が認識され、教育にそれらの科目が導入されてきている。本問題では、生徒の ICT 機器の利用実態と教育環境から、ICT 教育の問題点を問うた。設問に対して適切に資料の要点をまとめる力、それらから問題点を発見する力、文章力を評価した。

第2問の主な採点基準

問1

平均点の国際比較から、日本が3つのリテラシー全てにおいて高い得点をあげており、特に「数学的リテラシー」「科学的リテラシー」はトップレベルにあることを説明できていれば評価する。「読解力」が低いと解答した場合は減点とする。

問2

教育現場や家庭での ICT の利用状況から、授業や家庭学習のための ICT の利用時間が少ないことが読み取れる。それ以外のデジタル機器の利用については、OECD 諸国と同等かむしろ高い。図表から読み取れるデータ以外の要因を述べた場合（例えば、「日本人はチャットやゲームをすることが多い」など）は減点とする。

問3

クラスあたりの生徒数や、教員の職業訓練に関するデータから、問題点を見つけ出す設問である。教員の長時間労働が社会問題となっており、情報教育へも影響していると考えられる。1クラスあたりの生徒数も影響していることが伺え、少人数教育が ICT 教育に適していると考えらるならば、クラスあたりの生徒数について検討を要する点も指摘できる。全ての図表に触れつつ、全体を簡潔に、かつ論理的にまとめることができれば高く評価する。図表とは関係のない独自の見解に基づいて論を展開した場合は減点とする。

【解答の傾向】

問1

概ね正しく解答できていた。比率としては少ないが、日本の『読解力』が相対的に低いという趣旨の解答が見られた。

問2

図から読み取れる個々の項目の数値を指摘するのみで、全体的な傾向を十分に説明していない解答が見られた。また、図とは関係のない独自のポイントのみを論じた解答が見られた。

問3

データから問題点を発見し説明する設問であるが、個人の体験を中心に論じた解答が見ら

れた。正しく問題点を指摘できておらず、独自に設定した課題解決の方法のみを論じた解答が見られた。

図から読み取れるポイントは複数想定できる。したがって、指摘した状況が図のデータに沿ったものであり、論理的に正しい場合には評価した。